（十三日夕刊）
磐城新聞
休刊　大祭第一第三日曜
定價（壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵税十錢）
廣告料二行五十錢（指定廿錢増）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

平賜饌場の席次は 內藤子が上席
いよいよ式場の準備に 式の次第と順序

御即位禮並に大嘗祭大饗第一日の儀の當日たる來る十六日正午平町磐城中學校講堂にたいて賜はる地方饗饌の所報、如く濱三郡に於て八百一名の資格者に對し各々發送を終り光榮の當日を待つ許りとなつたが賜饌は定刻各賜饌場係長が主催者として一饗饌を賜はる旨挨拶をなし、これに次いで當日各賜饌場參列の資格者中の宮中席次最上席者が司式者となり一同に代つて御禮を言上し、萬歲を三唱諸員これに續いて奉稱賜饌される其各賜せん場における榮ある上席者は子爵正三位內藤政潔氏にしてなほ各係員はいよいよ當日も三日後に切迫したのでこれが準備に先づ今十三日會場設備係がそれぞれ分擔して明十四日には各賜せん場係員の主任以下が出張し十五日までに各係長以下全部所定地に到着當日を待つ筈である

盛會だつた 兒童製作品 參觀三萬人

石城郡內十五校聯合御大典記念石城郡兒童成績品展覽會は去る十日から平町第一小學校に於て開催され十一日午後六時を以て終了したが二日間の入場者は三萬人に對し嚴密な審査を行つた結果入選したものは書方五百七點、圖畫五百六十二點、手工藝百二十點、總計千百八十九點で最も入選點數の多かつたのは平第一小學校、白十二點次いで平第二校、小名濱校の順序でつた、なほ十一日午前十時から平町第一小學校に於て盛大な賞狀授與式を行つた

平居殺場の移轉問題 有力說擡頭

平町居殺場は現在平町字正內町地內に…が最近の平町は漸次同方面に發展しつゝあり殊に昭和四年度に着手する平町第四小學校は現居殺場附近に建設することに內定して居るので同附方面の區民は衞生上並に敎育上同居殺場の設置は極めて不適當であるから適當な候補地を選んで移轉すべきであると漸く叫ばれて來たが平町役場に於ても同問題に就て目下種々考究中であるから居殺場の移轉は早晚實現されるものと見られる

光榮の御召狀 平局取扱ひ二百卅九 濱三郡で八百名

來る十六日大饗第一日の儀當日光榮ある召を蒙り平賜饌場に參入すべき濱三郡の八百一名に對する召狀は平局扱ひの二百卅九通を始め一昨十一日以でそれぞれ書留郵便により配達されたが謹んでお召狀を披見拜讀するに狀は四六判金緣の料紙に上方に金の御紋章を浮かした莊美嚴肅の樣式よりなるものにして

來る十六日大饗第一日の儀儀行はせらるゝに付當日正午福島縣石城郡平町に於て饗饌を賜はり候條此段申入候也

昭和三年十一月一日　宮內大臣　一木喜德郎

宛

とあり更に裏面に注意事項を記したものである

安島氏を囑托

石城郡山田村長安島重三郎氏は本縣自作農創設維持資金貸付審査會委員が本月九日を以て二ヶ年の任期滿了したので民間新委員として縣から囑託された

野喜久會の溫習會 十六日公會堂で

平町遠藤佐喜野女史門下の野喜久溫習會は十六日正午より元郡會議室に於て開催する事となつたが東京上原淳子、上久保富美治氏等を初め尺八は谷口鹿童氏その他の出演もあり盛會を豫想されてゐるが曲目は左の如し

▲一部　四季の曲　千鳥
勿來關　六段　近江八景
住吉イ花競　ロ如月　句
當內侍　三つの景色　櫻
ほたる　夕顏　吾妻獅子
秋の曲　竹生島
▲二部　六段　越後獅子
白の聲　勿來の關　近江
八景　拇枕　秋の言葉
吾妻獅子　松風　鐘ヶ岬
けしの花　小督　松竹梅

御大典奉祝記念に組合の趣旨を宣傳
本部から講師を招き 映畫と講演日割

產業組合中央會石城部會では御大典奉祝の記念事業として地方產業組合の各種發展を計劃中であつたが組合員の向上を期すため次の如き日割を以つて產業組合宣傳活動寫眞及產業講演會を開催する事となつた

▲十九日午後六時より江名信用購買利用組合、二十日小名濱信用組合、二十一日窪田信用組合、二十二日大浦信用組合、二十三日無限草野信用組合、二十四日小川信用組合

向講師は未定であるが本部から特派される筈である

明春選擧に 活躍 磐城の日勞黨

日勞黨磐城支部では明春の郡下町村會議選擧には湯本町、內鄉村を中心に大活動をなし同黨から町村議員を選出せんとし旣に炭礦方面に對しては潛行的運動を開始したがなほ同黨では農村方面に進出する前提として御大典明け後直に平町に於て政治問題大演說會を開き續いて農村問題を提げ各地に進出すべく奔走してゐると

植田の賑ひ 裝飾は十六日迄

植田町の奉祝餘興は踊屋臺は九日より十一日まで晝夜全町を隈なく練り歩き旗の行列と全町沸き返るやうな盛況裡に終り十二日よりは靜けさに返つたが電燈裝飾や軒提灯その他各種の裝飾は十六日までその儘續ける事になつてゐる

吉田眼科醫院

箱根巡り（終）
齋藤昌武

以上記せしごとき古の文書一々その理由明にしたる余等は歷史的研究の價値あり…[illegible]…箱根の路人に鄭重な取締をなす……と今でこそ雲助の顔湯音に發し越すに越さが…[illegible]…へなど數臺のモータボート自動車に水陸共に奪はれその轉變のはげしき人の世にユウモアな場面であるしかし又霧きぬ過去に殘された幾百の名所舊蹟はこの地、人を慰むるに力あるものであらう…[illegible]…食するひまもなく箱根神社…[illegible]…門…に明治天皇御駐輦太后御野立の跡とある、明治六年八月二十日箱根神社御幸の際たまはれたほくる御野立あらせられたこととてる、曾我五郎もこの社の稚兒のなりしことならん神社はニニギノ尊、ヒコホヽデノ尊であらせらる、途中なるはるか離宮に頭たれて、大樹の壯殿、いにしへを語るが如く、芦湖のボートでしばし消遊し三島に至る。

箱根……三島方面

箱根をさきを三島との間…[illegible]…兩海道の美麗又例へるに…[illegible]…すの鴨き聲に三島の一夜を明けて富士箱根の山嶺を介もした盆地の頭はまだ一種云ふべからざるものだつた、一同清き、山水の流れに口ゆすぎコバ木作りの橋上で寫眞をる、朝飯を食す暇はくもなく官幣大社三島神社に參る桃山時代風をおびたる社殿には平和そのもの〻神鳩とか扉根傳へに飛び正門近き太コ作りの橋下にはいろとりどりの鯉が浮きつ又しすみ參詣人の投げ與へるイサにたはむれて右方垣の中に約二十四五の神鹿互にいたはりながら…うてゐる如きその…へん…境內に大正天皇東宮…御手植の松あり傳ふるところ明治二十九年三月九日なりきさ、綠ひたゝる御樹中におはし日の天子の英靈をはるか拜するの光榮を得たのでも…、げに聖代の御慈ひであらう。卽時沼津方面に向ふ。

三島……沼津

廣小路驛から沼津行の電車にうつる、電車に居ること約一十五分やがて沼津につく、それより沼津公園沼津海岸をたどる…[illegible]…年前明治四十年十二月ならん〻松樹重なる中をめぐりておだやかな典形である。

講談 幕末秘帖 狂恕亂心 (89)
渡邊默禪作　宮野歌春畫

「御意の通り」と簡單に答へた。

「濟まねね、眞平勘辨してお呉んなせえ」

梅は後に彈けがへつた髷をふりながら、帖然と土に手をついた。

「全く私が惡いのだ、思ひ違ひをしちやつたんだ、今の話を聞いてすつかりと夢がさめやした、さ此の通りだ詫をしやすから、馬鹿な奴だとお笑えなすつて、コツ諒簡をしてやつて呉んなせえな」

＊　＊　＊

近藤勇をはじめ二派の者は、清川八郎に對して十分のうたがいをかけてゐた。彼は幕府の爲に新徵組を擁へたかの如く見せかけ、其實是を養成して己れのご〻に使ひ、他日機を見て幕府を倒す下心ではあるまいか、もしそうであつたらは、今の中に何とか彼を處分せねばならぬ、と個樣に考へて居つた。

けれどもそれには確かな證據が有るといふ譯ではない、唯そうらしく見えるのみである。隊長の芹澤鴨などは――有無を言はさず斬つて了へ――と亂暴な說を唱へるが證據もないのに妄りに手を下しては…[illegible]…矢先、偶々梅といふ奇男兒が飛込んで來た――あゝ是は好い物が手に入つた、清川に顏を看知られてゐぬのを幸ひ探偵に使つて彼の奉勤を突止めてやらう、此の男ならば仕損じはあるまい縢、仕損じたところで此方には無關係であるから、一つは怨まる〻筋はない、清川に本人の器量試しその行工合を見て幸ひに成功したやうなら又だ大いに用うる所がある――とこう思つた。是が例の智慧袋、土方歲三の策であつた。

獨り清川ばかりではない新徵組の取締役をしてゐた山岡鐵太郎又た其の義兄の高橋伊勢守に對しても同樣の眼を以てみてゐた。清川ほどではなくとも、近藤勤王攘夷の志士と親しく交つてゐるのが、頗る怪しむべきことである、或は異心を挾さんでゐるのではあるまいか、と疑つた

此の注意人物が二人までも勤王家の金子與三郎と親しく往來してゐる、毎月十八日を期して金子の許に詩會が開かれ、それに出席して夜を更かして歸るのが例近藤はとくに是を知つてゐた、恰も明日はその會日に當るので、委細を梅に言含め、加盟の手始めに此の役を果すべく頼み込んだ。

而して松中屋敷の見取圖を書いて渡し、二人の人相や紋所鎗印等を敎へ場合に依つては斬棄てゝもさしつかへない、といふことまで宣言した。

梅は無頓着である。將軍家のためとあらば何でもござれ、そんな役目ならお茶の粉だと手輕に引承けた。土方の思ひついた趣向を其の儘乞食姿に身をやつしてちよいと芝居を演つたのである。

聞いて見ると腹が立つ、癪にさはる、こんな奴は近播序に叩つ斬つて、首にした方が世話がなくつてよからうと住吉詣りにお土產物の始末でもするやうに頗る無雜作に考へた。何處までも梅さん式にやつてのけようとしたが、ドッコイそうは參らぬ。

明日の吉凶
新曆十一月十四日　舊曆十月三日

▲一白　巡り來れる幸運逸せざる樣に努力あるべし▲二黑　蹉跌を生じ易き日成るべく內を守るべし▲三碧　迷雲眼前に橫はりて行く手の定まらざる日▲四綠　氣心に落付きを生じ來るかば廻るべし▲五黃　行違ひの生じ易き日何事も手控するが安全▲六白　その位置に安んじ日課を怠らぬ樣にすべし▲七赤　小を得て大を失ひ易し進むより守るが無事▲八白　知つた振りより不慣れの事を持込まれ難儀する日▲九紫　張合ひよく事業の進み行く日但し飲食注意

大和田醫院

店員募集

今回平町を中心に仙臺、助川方面まで販路擴張の爲め平町の左記に出張所を開設し同時に左の資格を以て店員二名を至急募集いたします、希望者は御來談を乞ふ
一、經驗の有無を問はず
二、年齡廿歲以上の男子（但し保證人を要す）
三、身体强堅にして眞面目なる者

吳服問屋　島一商店　本店　埼玉縣入間郡所澤
出張所　平町新川町六（本間綿店）

最中で評判の泉屋に喫茶部が出來ました
御大典を謹むでお祝致しませう
そして此の御大典を記念する爲め
「泉屋の喫茶」を初めました
開店披露　爲半額
十一日より十七日迄一週間
泉屋菓子店喫茶部　平町五丁目（電六六八）

カマボコ
原料精選――品質佳良
特別廉價――配達迅速
多少に拘はらず御用命願上げます
電話八二七番
鮮魚仕出　吉田かまぼこ店
平町田町大通り

松島名產
カキ貝　御料理
カキフライ　品々
カキなべ
ス　貝
洋式宴會仕出し
平町田町　一の井　電二六七番

開店御披露
氣分好い食堂ができました、是非一度御來店の上御批評を
經營は大塚肉店故原料豐富、是非一度御試食の程を
女給數名入用
カフヱー幸樂　平町六丁目　電五三九番

醫院開始
內臟外科
外科一般
花柳病科
平町田町大通り
安齋外科醫院　電話四三六番

平賜饌場の係員と設備萬端決定
平驛から指導標を立て室内装飾その他

濱三郡賜饌場は中町磐城中學校講堂と決定したので昨十二日平町役場に伏見町長唐土磐中校長、豬狩平署長の三氏會同賜饌場の設備其の他に關し協議した※昨報の如くであるが協議の結果賜饌當日の十六日前に於いて平驛から磐中までの道路要所たは指導標を設けて賜饌者の便に供する事、賜饌場たる磐中校門前に一大緑門を建立して濱三郡賜せん場の額面を掲げる事、饗せん場は講堂西方を上段として九列に卓子を並べ上段には金屏風をたて大盆栽鶴龜の置物を置き更らに賜せん場内に紫、白、紅白の慢幕を回らし室内上方は萬國旗さ以つて裝ひ賜せん食卓に向ひ合せし白布を蔽ひ其の上には盛花小菊を並べて清爽に裝ふ事以上尚當日、平賜せん場役員は

係長佐瀬農務課長　大禮委員伏見町長　唐土磐中校長大禮學務委員　縣側船尾屬外十名　町側佐藤助役外五名　磐中側山崎教頭外一名

因みに賜せん者當日の服裝は通常服

△フロックコート着用の場合は帽子はシルクハット又は黒山高帽に限り靴は黒色

△モーニング着用の場合は帽子は可成黒山高帽靴は黒色に限る

△和服着用の場合は紋服（紋付衣紋付羽織紐し縫紋を除）袴を用ひ足袋は白色帽子は黒山高帽

此の服裝に違反した場合は賜せん場に入場する事が出來得ないから充分に注意する事が必要である。

十年振りに出て來た花柳界の景氣
三日間遊興費二萬圓
新田町方面賑ふ

石城郡地方は十日以來御大典の奉祝氣分に醉ひ平町の商街は勿論花街方面へ至る歡活氣横溢して數年來見られなかつた好景氣振りを目せてゐる、平館、有聲座兩常設館の如きは連日連滿員の盛況を呈してゐるのを始め郡内各地 興行界も久方振りの活氣を見せ更に平町の新田町、鎌田、商町等の花街は鎌田の如きは十日から昨夜まで平均八十餘の登樓客があり南町の歡窟も附近町村から苦衆連が乘り込んで酌婦一人三人平均位いの割合で遊興客があつたとは戰前戰後の黄金時代を髣髴さするものがあり更らに新田町の狀況は大少百三十餘の藝妓連中が大童で活躍し美醜老若を問はず毎夜二十本以上の平均玉代を稼ぎ出し一本六十五錢で一人當り十三圓とすればざつと二千圓先ず酒代料理代等を入れれば昨夜までの三日間に二萬圓以上の金が撒かれた譯で料理店置屋の連中は各れもホクくものである

教員上りの賊捕はる
平署で取調中

內郷村大字高坂字御殿野澤飲場方帳付宮城縣桃生郡五福村生れ元代用教員山下勇雄（三七）は去二十日午後六時同飯場居住長谷川幸平所有の銘仙衣類外數點代約三十五圓分を窃取したる高坂駐在金田巡查に探知逮捕され本署に引致の上窃盜罪として嚴重な取調を受けてゐるが此奴は去る大正十四年まで大浦村小學校に代用教員を奉職し夏季休暇で歸鄉した節郷里の小學校に忍び入り多數の金品を窃取し平區裁判所で懲役一ケ年を言渡された前科者であるが餘罪頗る多い見込

平町の臨時町會召集
歲入出追加案

平町では來る十七日午前十時から町會を召集歲出入の追加更正豫算外數件の協議をなす筈である

福島に移されて縮る平刑務所
その敷地四千坪は平町が拂下げ希望

平刑務所は從來敷地四千坪を有し獄舍も是にしたがつて廣大で常に懲役二年以下六、七十人の罪人を收容して居り監視も十六人を數ひ特に服役者の最も多かつた明治四十年頃は一時百五十名に達する犯人を收容して居つた程であつたが其の後犯人は多く福島に集合し同時に極力刑務所は緊縮される事となり本年以來收容されてゐるのは刑の未決定の者を除けばあとは僅に刑務所內の掃除及炊爨に從ふもの三名だけとなつて居り監視も十六名が十名に減じられて居るけれど尚ほ係員の方が收容者よりもずつと多いと云ふ珍現象を見せて居る司法省の此緊縮方針は近く更に具體化し御大禮あけの本年度もしくは明春に於て福島刑務所平支部なる現在の名稱を福島刑務所平出張所と變更縮少し監視其他の係員も半減せしむる筈に決して居る隨つて現獄舍は是をとりこぼち現在の四千坪の敷地中三千坪をうり拂ひ東測平區裁判所に接したる方面鐵筋コンクリートの最新建築をなす事となり目下調査中とあるが司法省としては刑務所跡三千坪を十圓位で賣却しその賣却費の三萬圓をもつて新刑務所の建築に充したい意嚮であるが右賣却敷地は運動場擴張で問題となつてる平町第二小學校に接續して居るので町で司法省に秘密裡に交渉中だが目下の處では町では坪三四圓を主張して

値段が折合ず行きなやみつゝあるが當局では是非共建築費丈けは此處で出す豫定の都合町の出樣によつて個人にも賣却を示して居るが結局坪五圓位で折合がつき平町が拂下げることになるらしい

漸く好轉の兆ある平地方の景氣
各炭礦の不況挽回策で商店街も賑ふ

平町の玄關である平驛舍と平郵便局はそれぞれ十萬乃至は二十七萬圓の工費を投じて十二月中旬より着工する事になつたが更に平町は七萬一千圓の工費を投じて明春モダン廳舍を十五町目に新築する事確定的となつて平町は早晚單獨か合併かによる市制を施すものであるとなし平地方の經濟界に大なるショックを與へ殊に古河、入山、磐城の三大炭礦が不況挽回策として大規模の事業着手を發表したゝめ不況のドン底に呻吟してゐた石城地方の財界はこれら事業に刺戟されていよく好況時代にすゝむであらうと銀行關係者は觀測してゐる

平町教育者

平町　平町教育關係者は從來年一回或は二回位ゞ校輪番幹事斡旋の下に懇親會を催し意志の疏通を圖り來つたがその第三十四會例會を來る十七日午後二時から平第二小學校內において開催する

磐城蒟
著しく上騰の新荷取引開始

磐城粉として近年東京其他各方面市場に好評を博して居る石城郡田人、上遠野、入遠野各村の蒟蒻粉は昨今漸く收穫期に入つたが郡農會及び石城蒟蒻研究會の指導よろしきを得た結果何れも好成績で目下の取引相場は玉一貫目四十錢前後製粉一駄（四十五貫入）二百五十四圓の高値を唱へ昨年の價格に比し一貫目に於いて十錢高製粉一駄に就き五十餘圓の暴騰を示し植田町仲買店においてそろそろ取引を開始されてゐる

御即位式の今昔（下）
西岡虎之助

貞和五年、崇光天皇の御時約二十七萬疋の御豫算その支辨を武家に命せられたところ、武家では二十萬疋しか領狀申上げなかつた。そこで殘りの七萬疋は、公家の方で何とか算段をされなければならなかつた（園太暦）までその二十萬疋の金にしろ武家が右から左へと物をやる樣に闕達出來た譯では決してない。かうした場合彼等は段錢段米と云つて土地に特別の賦課をなしたり、或は土藏役、酒壺役など、稱して質屋や酒屋に臨時の負擔を命じて何うにか急うにか所要の金を搔きあつめたのであつた。されど應仁の亂以後戰國時代になると武家もその力がなくなり爲に御即位式は延引勝ちとなつた　後柏原天皇の御踐祚後、二十二年目に諸方勤王家の獻金よつてやつと御式を舉げ給ひし如きはその最も極端な一例である。この狀態は豐太閤の出現によつて元に復せられ引續き德川時代にも幕府や諸侯の獻金等によつて行はれたがそれでも年額の金にして八九萬圓から十三四萬圓程度の少額に決して潤澤で申す譯には行かず、萬事不如意勝ちではあつた。

武家時代の第一期に於て御即位禮は皆太政官廳で行はれた。

大禮　太政官廳は國政を總攬する役所であつて御即位禮などの儀式を行ふ場所ではない。しかも平安朝の後三條天皇御即位の際、大極殿が再燒失したゝめ、その時の御都合で太政官廳を式場とされたがその後間もなく新に大極殿が建築されたので次帝白河天皇以下の御即位禮は奈良朝以來の例に從つて大極殿で執り行はれた。

がその後三たび大極殿燒亡してからは云ふもの、つひに復舊の議に會せず、後鳥羽天皇以後、後土御門天皇に至る二十三代の間の御歷代はいづれも前云つたごとく政廳たる太政官廳で御即位禮を行はれなければならなかつたのであつた。ところが此の太政官廳がまた後土御門天皇御即位禮（寬正六年）後二年にして彼の應仁の大亂が起つた結果兵燹にかゝつて烏有に歸し、これまた復興の機を得ることが出來なかつたゝめ次帝後柏原天皇以後は、ズツト紫宸殿で御即位禮を行はれるやうになつたのである。

紫宸殿で行はれた御即位禮の概樣を述べて見れば先づ其の前日に式場の設備を舉り當日は早朝御湯殿 御儀があり、次に藏人の奏覽せる宣命の清書を天覽遊ばされて、之を下げになるとその儘宣命使の許へ送附される。一方卿相等は相伴うて正殿の御計備を檢し儀仗の各官はいづれも庭前に參入する諸衛の官人たちが陣を設けると同時に、主殿圖書の司は其の定席に着く斯くて着々準備が進行する間、別に外辨の公卿は參集して參入の命を待つてゐるそのうちに皷聲とうくく其の剋を告げると腋門を開いて主上は御服を召し替へられ、女官、儀禮官は相次いで式場に現はれる。それについで開門の儀があつて、外辨の卿相が打ち揃つて參入する。但し平安朝時代にはこの時隼人の吠聲が行はれたものだが、それは既に形式さへ失せて、たゞ簡單に一揖するに止まつた次いで主上は高御座に出御あらせられ、褰帳、焚香の儀が了つてから宣命があり、禮畢の奏と共に帳を垂れ主上は後房に還御せられ參列の外辨まで退下し侍從、女官これに次ぎ諸臣ことごとく退去した後で宮門を閉づる――と云ふのでこの樣式は爾後三百七十年間明治維新に至るまで御即位禮の度每に用ひられた。その奈良平安兩朝の古制に比しいたく簡略に盛容を缺くものになつて了つたことが想像するに難くない。

手心が仇となり町稅甚しく滯納
御大典終了の直後に斷然處分の方針

平町役場では町稅滯納に惱まされ御大典終了後直ちに滯納處分を斷行すべく目下稅務課でそれぐ準備中だが未納額は三年度第一期月數割附加額四萬七千六百六十二圓五十錢、約三割強に相當して居り平町では手心が却て仇となり惡例を示すことは甚だ遺憾であるから今年度から斷然たる處置を執ることゝなつたといふが滯納者九百六十四名の內實際貧困のため未納したものは極めて少なく大部分は算盤を彈づく商人である

賜饌場に盛花陳列
平一櫻會で

平町役場では來る十六日執り行はせらるゝ賜饌場の設備萬端について各係員を督し目下準備を急いでゐるが同日式場に飾る盛花につき小原流の家元師範たる清野キヨ、萩原たけ子の兩女史に囑托したので兩女史は非常の名譽とし平一櫻會員と共に約六十杯の盛花を陳列することゝなり材料は特に東京より購入し入念に盛花を陳列する事となつたが光榮ある人々は左の如し

清野きよ　萩原たけ　高橋さく　奧山ちか　川崎さく　山崎さと　新妻ちと　阿部たき　篠田みね　酒井てる　二關きみ　猪狩きみ

十三日會例會

平町十三日會例會は十三日午後六時半から平銀行樓上に於て開催鈴木積善氏の「日本共産黨事件に就て」の講演がある筈

鮫川議員選擧
立會人も決定す

植田町鮫川堰普通水利組合議員四名の選擧は十五日午前九時より同三時まで役場に執行する立會人は會川熊次、鷲保之助の兩町議が復活運動猛烈なる矢先相當注目されてゐる

「磐城高風錄」近日配本
郡下著名の百名士略傳
意義ある本社の記念出版

本社が意義ある　御大典記念事業として襄きに計劃發表せる石城郡下著名の士、百名を網羅せる記念出版の事業は其後順調に進行し來る二十日頃配本の手筈に確定いたしました、題名を『磐城高風錄』となし東京神田猿樂町三共印刷株式會社の手に依て目下印刷製本中でありますが裝幀は菊版總クロース背表金文字打込の箱入れ印刷製本とも最も入念に極めて高尚優美なるもので飽くまで各位の御期待に叛かざるの確信を持つてをります、何卒配本の日を御待ち下さる樣豫め御知らせ申上ます。

磐城新聞社

記者募集

年齡二十才以上、中學三年修業程度以上の學力あり新聞に趣味を有する身体強堅の者一名優遇採用す、希望者は履歷書携帶本人午前中に來社あれ委細面談

磐城新聞社

教育基金を寄附
磐城無盡が記念事業に
小宅氏の美擧

石城郡植田町磐城無盡商會は近來とみに信用を高め將來益々發展の道程にあるが同商會主小宅嘉久治氏は御大典記念事業として十五萬圓以上の契約金高を有する取引所々在地の町村小學校基本財產中に二十圓以上づゝの寄附を申出て金額二百圓に達したが記念事業としては最も有意義の美擧にしてその行爲を賞讃されてゐる而して同無盡商會は今や加盟會員八千餘人契約金高二百二十餘萬圓に達し百數十ケ所の取扱所を有し聲望隆々たるものあるが之れを羨望する一部の者は爲めにせんが爲め事實無根の宣傳をなし非常に迷惑を感じてゐると

學生外套入荷

中學用
二四丈 頭巾付 一一、〇〇
二五丈 同 一一、五〇
二六丈 同 一二、〇〇
二七丈 同 一二、五〇
二八丈 同 一三、〇〇

小學用
一八丈 頭巾付 八、〇〇
二〇丈 同 八、五〇
二二丈 同 九、〇〇

其の他マント、オーバ、トンビ
豊富入荷

あかや洋服店
平 二（電二〇三）

特賣!!
たひら正宗 福島縣清酒品評會一等賞受領
花春 同優等賞受領
醬油釀造元
鹽屋 山崎合名會社
電話一〇番

內臟外科
骨關節外科
整形外科 專門 藤本順
產婦人科 院長 木村寅次郎
平町新川町
外科 婦人科 木村醫院
電話一六四番

外科（外科一般 耳鼻咽喉科 花柳科）
婦人科（婦人科 產科）
內科
X光線科
赤心堂病院
平町田町（電四七五）

電燈より接續してすぐ寫る
家庭活動寫眞
パテーベビー活動寫眞機
映寫器 八〇、〇〇
撮影器 六五、〇〇
フヒルム一本 二、〇〇 二、五〇
生フヒルム一本 一、〇〇
市內はお伺ひして御覽に供します
御申越次第カタローク進呈
平町二丁目
パテーベビー社代理店
西村屋藥舖
長 電話三番